


東海労 関西	2024年 4月13日 第957号	JR東海労新幹線関西地方本部 発行責任者 笹田 伸治 編集責任者 教 宣 部	
---------------	-------------------------	--	---

JR総連近畿地協常任委員会(津崎議長)は、原因と責任の所在を明確にして

各単組の組合員にしっかり説明せよ!

4月8日に開催されたJR総連近畿地協第4回常任委員会で、JR総連第40回定期大会代議員選挙近畿地協選挙区選挙を改めて執り行うことと、現在認めている立候補を無効とすることが提起されました。

常任委員会に参加していたJR東海労新幹線関西地本の笹田委員長(地協副議長)と浦谷書記長(地協常任委員)は、「責任者である近畿地協常任委員会(津崎議長)が各単組、各組合員へ、何故この度の事態になったのかの原因と責任の所在を明確にすること抜きに、そんな話にはならない」と抗議し、改めて代議員選挙を行うことと、現在認めている立候補を無効にすることに反対であることを意思表示しました。しかし、JR総連近畿地協常任委員会(津崎議長)は、2人の意思表示を受け入れず、改めて代議員選挙を執り行うことと、現在認めている立候補を無効にすることにしました。

JR総連の規約規則とJR東海労新幹線関西地本を無視した

代議員選挙管理委員会設置と選挙管理委員長選出と代議員選出!

そもそも、この度の近畿地協選挙区における代議員の選出は、JR総連の規約・規則とJR東海労新幹線関西地本(笹田副議長と浦谷常任委員)を全く無視して進められようとしていました。それを知ったJR東海労新幹線関西地本の小林書記次長が、「これは問題だ」ということで、4月1日の立候補締め切り日に立候補を行ったのです。

中央の選挙管理委員会で確認して発表された立候補者と選挙日程を

次の日に「改めての代議員選挙」 そして次の日に「立候補無効」

4月3日、JR総連選挙管理委員会(中央)は、第2回選挙管理委員会を開催し、代議員選挙への立候補者を確認し発表しました。そして、定数を超える立候補があった近畿地協選挙区は、『JR総連選管連絡第2号』の選挙日程に基づいて、(4月4日から不在者投票。4月11日に一般投票。そして4月12日に当選確認および発表の日程で)選挙を行うようにという『JR総連選管連絡第4号』を発しました。

ところが、翌4月4日にJR総連選挙管理委員会(中央)は、改めて近畿地協選挙区代議員選挙を行う(やり直し)という『JR総連選管連絡第6号』を発し、その翌日の4月5日に改めて実施する選挙日程と、現在、JR総連近畿地協選挙区で立候補している2名(津崎、小林)の立候補を無効にするという『JR総連選管7号』を発したのです。

「なんで!?!地協の責任者はしっかり説明するべきだ!」という各分会代表者からの声!

私たちは、津崎議長に原因と責任の所在説明を求めます!